

湖北圏域医療福祉ビジョン評価シート

湖北圏域医療福祉ビジョン		地域包括ケアセンターいぶき		評価	
A	B	C	D	E	
Ⅲ 湖北圏域における医療福祉ビジョン (基本的な取り組み方針)	Ⅳ 基本的取り組み方針の具体化	進捗状況	具体的な取り組みの内容	課題	
1 医療福祉の基盤の充実をめざします	(1) 人材の確保と育成を図ります				
	① 不足する人材確保と離職防止 医師、看護師等の医療従事者および介護従事者の確保対策および離職防止対策は、この圏域の重要課題として、各施設において引き続き取り組みを進めるとともに、行政として可能な支援をしていきます	◎	1. 新人事制度開始(H28.4)・・・職位・職責・職務内容に応じた任用と賃金体系を制度化。2. 研修医、各種学生(医・看護・リハ)の実習の積極的な受け入れ(過去5年間の実績 212人、のべ1828日)。3. 医師の応援体制は地域医療振興協会施設にて調整	ケアセンターいぶきは医師3名での運営が適切と考えられるが、現在医師2名で運用している。医師を増やしたいが現実には難しい状況が続いている(平成29年度に医師1名が部分的に入ってもらえる見込み)。看護師や介護士を募集してもなかなか人が来てもらえない。	
	② 医療福祉サービスの充実のための人材の育成 医療福祉に携わる従事者に最新の知識技術の情報を得る機会が増えるよう、各機関、各事業所等が務めるとともに、そうした研修情報の共有化を図ります	◎	1. 自己啓発援助・・・認知症ケア専門士などの資格取得者に対し奨励金(2万円)を支給(平成24~27年度で31名)。2. 学会、研修会への参加を促す。3. ケアセンター主催のIPE研修(年2回)、ホワイドボードミーティング(しろいたの絆、毎月)の開催		
	(2) 圏域に必要な機能の充実を図ります				
	① リハビリテーション機能の強化 回復期リハビリテーション病床を整備し、脳血管疾患や大腿骨や骨盤骨折等による機能障害の回復やQOL向上のためのリハビリテーション医療を強化します				
① リハビリテーション機能の強化 入院患者へのリハビリ、在宅療養者へのリハビリ、介護保険サービス利用者へのリハビリ、健康維持活動におけるリハビリ等、様々な場面でのリハビリテーションの実践を広げます	◎	1. 訪問リハビリの充実(平成27年度 1313件実施)。2. 利用者ニーズを踏まえ時間短縮デイケア(時短デイ)の開始(平成28年10月から)。3. 健康維持活動のため地域サロンでのリハビリ教室。4. 近隣デイサービスへリハビリ指導			
② 救急医療体制の充実 救命救急体制の確保のため、人材育成や必要な施設・設備の整備、医療機関相互の情報連携など、一次救急医療を担う休日救急診療所、二次救急医療および三次救急医療の機能充実に努めます					
③ へき地医療の確保 長浜市北部や米原市の山間部等にあるへき地における医療のあり方について検討し、必要な取り組みを進めていきます	△	1. 米原市からの指定管理により、へき地診療所である吉槻診療所(週2回)、板並出張所(週1回)、大久保出張所(週1回)の継続	米原市では、患者数の減少や管理者確保困難なため、出張所は今後廃止の方向と議会でも決議されている。しかし現実的には継続を余儀なくされている。		

湖北圏域医療福祉ビジョン評価シート

湖北圏域医療福祉ビジョン		評価		
A	B	C	D	E
Ⅲ 湖北圏域における医療福祉ビジョン (基本的な取り組み方針)	Ⅳ 基本的取り組み方針の具体化	進捗状況	具体的な取り組みの内容	課題
1 医療福祉の基盤の充実をめざします	(2) 圏域に必要な機能の充実を図ります			
	④ 医療機能の充実 圏域内の各医療機関がそれぞれの特徴や専門性を高め、その強みを発揮していくことで圏域全体の医療が高められるよう、医療の機能分化を進め、医療機関相互の連携を強化します また、地域のニーズを的確に捉えながら、必要な医療機能の充実に努めます	◎	1. 診療時間の変更（午前・午後診を、平成28年度から午前・夕方診に）。2. 予約システムの導入。待ち時間を少なくし、仕事帰りや子どもなど幅広い年齢層の受診が可能となった。3. 医薬分離（院外処方化）・・・待ち時間の短縮とサービスの質向上	人口減少による患者の減少
	⑤ 病病連携、病診連携の推進 湖東圏域と連携して、圏域内の医療機関が情報ネットワークを結び、患者情報を共有することにより、よりきめ細やかな医療の提供、医療機関相互の連携強化を図ります	◎	1. 在宅療養支援システム（琵琶湖メディカルネット）の導入（平成25年）	琵琶湖メディカルネットは、セキュリティを高くしているためにログインするまでと、データのダウンロードにも時間がかかり、外来時間中には使えない。
	⑥ 在宅療養支援ネットワークの構築 在宅療養者に対してより迅速に適切な医療福祉サービスが提供できるように、在宅医療に関わる診療所医師、訪問看護、介護事業者等が情報連携のためのネットワークを構築します	△	1. おうみあさがおネットの利用を計画（平成28年度中）	あさがおネットがセキュリティを高くしている分、登録に手間がかかる。電子カルテの情報がそのまま流せないため、記録が二度手間となり、利用しにくい。
	⑦ 在宅医療・在宅看取りへの対応体制の充実 在宅医療・在宅看取りを支援する医療機関等の充実に努めます	◎	在宅療養支援診療所としてサポートしている。（年間30名程度の看取り）（平成28年11月の訪問患者95名、訪問件数138件）	地域の人口が減少しており、一人暮らし高齢者や高齢者世帯、介護者も要介護状態など、在宅での看取りが難しいケースが増えてきた。対応策として老健やグループホームでの看取りが増えてきている。
	⑦ 在宅医療・在宅看取りへの対応体制の充実 在宅療養を支援するため、在宅療養に関わる医師、歯科医師、薬剤師、看護師、リハビリスタッフ、ソーシャルワーカー、ケアマネジャー等の養成・スキルアップに努めます	◎	多職種が関われるよう、IPE研修（年2回）やホワイドボードミーティング（しろいたの会、月1回）、ケース（ケア）カンファレンス（月1回）を開催している	
	⑦ 在宅医療・在宅看取りへの対応体制の充実 在宅療養者を支援する医療福祉サービスや資源情報を一元的に管理し、情報提供できる体制を整えます			
	⑦ 在宅医療・在宅看取りへの対応体制の充実 地域医療支援センターにおいて、在宅医療を支援する医療機器貸出や、衛生材料等共同購入ができる機能を構築します			
⑦ 在宅医療・在宅看取りへの対応体制の充実 在宅や介護施設での看取り支援のための体制づくり、環境づくりを進めます	○	外来、訪問診療、訪問看護、訪問リハ、デイケア、入所、居宅介護支援事業所など、医療と介護両面的に対応できる複合施設としている。		

湖北圏域医療福祉ビジョン評価シート

湖北圏域医療福祉ビジョン		評価		
A	B	C	D	E
Ⅲ 湖北圏域における医療福祉ビジョン (基本的な取り組み方針)	Ⅳ 基本的取り組み方針の具体化	進捗状況	具体的な取り組みの内容	課題
1 医療福祉の基盤の充実をめざします	(2) 圏域に必要な機能の充実を図ります			
	⑧ 介護・福祉サービスの充実 地域のニーズを的確に捉えた介護・福祉サービスの充実に努めます	◎	1. ショートステイのニーズが非常に高く、ショートステイを利用した在宅支援(老健60床のうち30床がショートステイ)。(平成27年度のべ11,216人の利用)。2. 短時間リハビリの希望が多いため、時短デイの開始。要支援の介護予防のため総合事業でリハビリ開始。	在宅療養が継続できる介護力の低下や独居高齢者の増加
	⑧ 介護・福祉サービスの充実 健康維持・介護予防・重度化予防を促進するサービスの充実に努めます	◎	1. サロン、健康教室へのスタッフの派遣。2. 市総合事業の受入施設として短期集中運動指導事業を実施(平成28年度)。3. デイサービス事業所へのリハビリスタッフ派遣(機能訓練指導)(平成27年度開始)	
	⑨ 認知症医療・ケアの充実 認知症の早期発見・早期治療のための医療機関連携、人材育成や環境整備に努めます	◎	1. 認知症ケア専門士資格取得奨励(人材育成)(平成25年から27年の間に12名が認知症ケア専門士を取得)	
	⑨ 認知症医療・ケアの充実 認知症の人や介護する家族への支援の充実と技術の向上に努めます	◎	1. 認知症カフェの実施(平成27年度より年2回)	
	⑨ 認知症医療・ケアの充実 若年性認知症への対応について検討します	△		若年性認知症の就労支援をしたいという職員が複数いるが、実際の立ち上げにはつながっていない。ノウハウが欲しい。
	⑩ うつ・自殺防止への対応 ゲートキーパーとしての役割を担う人材として育成に努めます			
⑩ うつ・自殺防止への対応 最初に受診する機会が多い内科医等のうつ病に対する診断・治療技術を高め、必要に応じてかかりつけ医から精神科医への紹介を行うなど保健医療のネットワークを進めます				

湖北圏域医療福祉ビジョン評価シート

湖北圏域医療福祉ビジョン		評価		
A	B	C	D	E
Ⅲ 湖北圏域における医療福祉ビジョン (基本的な取り組み方針)	Ⅳ 基本的取り組み方針の具体化	進捗状況	具体的な取り組みの内容	課題
1 医療福祉の基盤の充実をめざします	(2) 圏域に必要な機能の充実を図ります			
	① 地域の住民向け医療福祉情報の啓発の充実 地域の人人を対象に、病気の予防や応急手当、健康推進、介護予防、認知症への対応、在宅医療や在宅介護、看取り等に関する情報提供や研修等を積極的に行い、地域の健康維持の底上げや健康課題への知識普及、医療福祉への理解促進などを図ります また、啓発情報の共有化をはかり、イベントの連携を図っていきます	◎	上野自治会での健康教室の開催(年3回程度)	
	(3) 多職種による医療福祉の連携を図ります			
	① 地域連携クリティカルパスの推進 現在「脳卒中パス」「大腿骨頸部骨折パス」「がん(胃・大腸・肝・乳・肺)パス」が運用されていますが、他の疾患への利用拡大など充実を図っていきます	◎	がんパスの他に、CKDパスを運用している(市立長浜病院、腎臓代謝内科と連携)	
	② 「医療と介護の連携についての手引き」による医療福祉連携の推進 ケアマネジメントにおける医療福祉連携のために湖北圏域で利用されている「医療と介護の連携についての手引き」の活用による多職種のサービスの連携を進めます			
	③ 地域包括ケアの推進 多職種が連携して保健・医療・福祉サービスが総合的、一体的に提供される「地域包括ケア」の確立に向けた取り組みを進めます			
④ 地域医療支援センターによる多職種連携促進 地域医療支援センターを多職種連携の拠点として、医療福祉関係者の顔の見える関係づくりを進めます				
⑤ 医療と地域保健との連携推進 健診結果に基づく効果的な治療や保健指導を行い糖尿病や慢性腎臓病など心血管疾患の重症化を防ぐために、医療と地域保健の連携を促進していきます	◎	米原市主催で、CKD研修会を年2回程度開催されており、出席している。		

湖北圏域医療福祉ビジョン評価シート

湖北圏域医療福祉ビジョン		評価		
A	B	C	D	E
Ⅲ 湖北圏域における医療福祉ビジョン (基本的な取り組み方針)	Ⅳ 基本的取り組み方針の具体化	進捗状況	具体的な取り組みの内容	課題
2 住民の手で医療福祉を大切に守り育てる地域をめざします	(1) 地域の医療福祉の課題を住民も共に考えます 地域の医療福祉サービスが貴重な人材によって支えられていること、医療スタッフを守るための行動が必要であることなど地域の医療福祉課題について、地域の中で考えていきます			
	(2) 救急医療の適切な利用について考えます ① 医療資源がかぎりあるものであること、軽症での受診やコンビニ受診が病院医師等を疲弊させることや、病院は本来入院が必要な重症患者に対応するものであることなどについて理解し適切な救急受診が受けられるよう、啓発などの取り組みを進めます ② 急な病気やケガの応急処置についての受講の機会を増やします また、小児救急相談「#8000番」など、困ったときに役立つ医療情報の啓発に努め利用を推進します			
	(3) 「かかりつけ医をもつ」ことを推進します 住民一人ひとりが自分の健康状態や病気の内容を把握してもらえる「かかりつけ医」をもつことの重要性について啓発します			

湖北圏域医療福祉ビジョン評価シート

湖北圏域医療福祉ビジョン		評価		
A	B	C	D	E
Ⅲ 湖北圏域における医療福祉ビジョン (基本的な取り組み方針)	Ⅳ 基本的取り組み方針の具体化	進捗状況	具体的な取り組みの内容	課題
3 地域の一人ひとりが健康に心がけ、地域の支え合いを力強くします	(1) 栄養、運動、休養、健診受診等の健康推進活動を推進します			
	① 健康の維持・増進のため、日常的によりよい食習慣、運動の継続、適切な休養などに取り組むこと、また、口腔ケア、食育などの重要性を啓発し、その機会の提供に努めます	◎	老健利用者、デイケア利用者に対し、食支援チーム(歯科衛生士、管理栄養士、作業療法士、理学療法士、看護師、介護士)が口腔ケア、栄養指導を行っている。	
	② 健康診断(住民健診、職場健診、歯科検診等)の定期受診について啓発します	○	外来において、健診を受けていない人に対しては健診受診を啓発している。様々な理由で検診が受けられない人は、外来にて検査を施行している。	
	③ アルコールや喫煙の健康影響についての正しい知識を啓発します	◎	地元小学6年生を対象に、研修医による授業を開催(平成28年度は4回。生活習慣病、喫煙、アルコールについて)	
	(2) 「共助」の意識を高める活動を推進します			
	① 住民相互の交流、世代を越えた交流が活発になるよう地域活動の取り組みを推進します	○	1. いぶきの夏祭りを開催(平成19年より毎年7月に。ケアセンターいぶき、ジョイいぶき、社協、認定こども園主催)。中学生にはボランティアとして参加。毎年1700名ほどの参加がある。2. 近隣の保育園から園児に来てもらってダンスなどをしてもらい、また逆に老健利用者が保育園を訪問する交流事業。3. 地元の中高生が吹奏楽に来てもらう(マウントイブキ吹奏楽団)	
	② 高齢者や障がい者等支援が必要な人を地域で支えていける意識の醸成に努めます			
	③ 社会福祉協議会の地域福祉事業等、社会活動への地域の人々の積極参加を促します			
	④ 民生委員や健康推進員などの活動に地域全体で応援・協力します	◎	民生委員会へ年1回講演する機会をいただいている	
	(3) 高齢者の居場所づくり、生きがいを支援します			
① 高齢者が尊敬され、生き甲斐をもって生活できる地域にするため、高齢者の居場所づくり、生きがいを支援する取り組みを進めます	◎	ケアセンターいぶきのそばに畑を借りて、老健、デイケアの利用者主体でダイコンやかぶらを栽培し、収穫し、調理し、食事をした。文化展を開き、高齢者や利用者の作品をひろく展示した。		

湖北圏域医療福祉ビジョン評価シート

	② 老人クラブやシルバー人材センターの活動、高齢者等のグループの自主活動に対して、活動の連携など地域全体で支援します			
湖北圏域医療福祉ビジョン		評価		
A	B	C	D	E
Ⅲ 湖北圏域における医療福祉ビジョン (基本的な取り組み方針)	Ⅳ 基本的取り組み方針の具体化	進捗状況	具体的な取り組みの内容	課題
3 地域の一人ひとりが健康に心がけ、地域の支え合いを力強くします	(4) 見守り、配食、買い物支援等のボランティアを育てます			
	① 地域のボランティア活動の紹介や支援を推進します			
	② 社会福祉協議会のボランティア支援事業などで、見守りや配食サービス、買い物支援等のボランティアの発掘や人材の育成を推進します			
	(5) 在宅療養・在宅看取りについて理解を深めます			
	① 在宅療養者とその介護者を地域ぐるみで支援していきます	◎	米原市では、在宅看取り率が高く、平成27年度の自宅での看取りは24.8%であった(厚労省発表データ)。これは全国1700余りの市町村の中で28位。	
	② 在宅療養や在宅看取りについての理解を深めるために、地域での啓発や学習の機会を増やすとともに、自宅で介護することや延命治療のこと、人生の最期の過ごし方などについて家族や親しい人たちと話し合います	◎	市内の老人クラブや民生委員の視察への対応。また地域でのサロンの講演会に出席し、在宅療養や看取りを啓発している。	
(6) 認知症の早期発見・早期治療を推進し、患者・家族を支援します				
① 啓発の充実などにより認知症に対する理解を深め、早期発見・早期治療の重要性と患者や家族を地域で支援することについて地域で考えていきます	◎	認知症啓発のラントモに参加している。地域のサロンや健康教室で認知症をテーマに、医師や看護師が講和をしている。		

湖北圏域医療福祉ビジョン評価シート

	② 認知症になっても患者・家族が安心して生活できる地域を目指します			
湖北圏域医療福祉ビジョン		評 価		
A	B	C	D	E
Ⅲ 湖北圏域における 医療福祉ビジョン <small>(基本的な取り組み方針)</small>	Ⅳ 基本的取り組み方針の具体化	進 捗 状 況	具体的な取り組みの内容	課 題
3 地域の一人ひとりが健康 に心がけ、地域の支え合い を力強くします	(7) 自殺防止の取り組みを推進します			
	① 心の健康問題の重要性、心の不調に気づいたら 専門家に相談したり、精神科を受診することが 重要であることを啓発します			
	② 自殺を考えている人のサインに早く気づき、精 神科医等につなぎ、見守っていただけるよう、う つ・自殺防止についての理解を深めていきます			